

一般質問

町政を問う

今回3名が質問し、
その要約を掲載しました。

小林 祥宏 議員 9

- ・ 行政の執行について
- ・ 道路整備について
- ・ 産業の振興について

藤咲 芙美子 議員 10

- ・ 町の医療体制について
- ・ 災害避難について 町民への周知を
- ・ やまゆり荘の閉館

鯉淵 秀雄 議員 11

- ・ 子育て支援策の充実について
- ・ 通学路の整備について
- ・ 行政改革について

《お詫びと訂正》

議会だより44号で誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

15P 誤：異動 正：移動
17P 誤：機械 正：機会
17P 誤：移動 正：異動



こばやし しょうひろ 議員
小林 祥宏

行政の執行について

〈町長〉 今後も着実に進めていきたい。

小林 町長に就任して1年2ヵ月後の取り組み状況は。

町長 北方小学校を茨城県の埋蔵文化センターとする事業で、

工事業者も決まり新たな施設が出来る。

小林 28年度の重点施策は。

町長 桂中の体育館、七会の国保診療所の建て替えを重要事業として考えている。

小林 28年度当初予算の見込みは。

町長 桂中体育館で6億円以上、七会診療所で1億数千円、全体予算として

8億円くらい多くなる見込み。

小林 人事関係について。定年退職者と新規採用のバランスは。

町長 本年は退職者12名、新採を現在

6名予定している。**小林** スタンスとして基本的異動の期間は。

町長 在職3年くらいが基本と思っている。

小林 職員の信頼関係の中で意思の疎通を図っていただきたい。

町長 指摘の通りしっかりと図っていく。

産業の振興について

〈町長〉 農業経営安定対策に取り組んでいく。

小林 環太平洋連携協定(TPP)に対する考えは。

町長 経済安定対策として、飼料米転換への補助や畜産クラスター等の活用を考えている。

小林 基幹産業である農業への取り組みは。

町長 JA・地元生産者と協力し、地産地消の推進をし、町内の道の駅・物産センター等を活用し、販路拡大を図っていく。

小林 那珂川沿岸農



城里町産の商品が並ぶ

町長 終了目標年度が平成36年度に変更。畑地総合事業として26年度粟地区、27年度磯野地区で座談会を開催している。

小林 県道阿波山徳蔵線バイパスの進捗状況は。
町長 現在全体の74%の執行である。来年度は、未着手区間840mの用地を着工する。全面開通は未定である。

小林 この事業は長い年月が経過している。国、県に働きかけ早期完成を願う。
町長 早く全面開通できるように、国、県に対し予算の要望を行っていく。



早期開通が待たれる県道阿波山徳蔵線バイパス

町の医療体制について

〈町長〉 病院の誘致活動は行っていきたい。



藤咲 芙美子 議員



浸水ハザードマップ



指定避難場所 桂中学校



防災行政無線設備

藤咲 行政の情報公開がなければ危険を認識することは困難である。ハザードマップは全世帯に配布し周知が必要だ。**総務課長** 指定地区のみ配布している。**藤咲** 防災無線は方向によって聞こえない地区があり、避難情報が入らない。改善していく必要があると思うが。

町長 宅内放送、屋外放送、携帯電話の情報発信色々組み合わせさせて町民に伝わるようにする。**藤咲** 避難場所への誘導看板、2、3ヶ国語入の道路標識が必要であると思うが。

町長 指定避難場所30ヶ所中13ヶ所標識板設置済み、誘導看板は来年度検討していく。**藤咲** 備蓄品の整備はきちんと管理されているのか。各支所にもいざという時は必要だ。

町長 町内60人程度の利用で、年1200万円の費用を60人で割ると、一人当たり20万円。健康なお年寄りに使うことが続けられない。ホールの湯を充実させてホールの湯で受け入れていく。



閉館されるやまゆり荘

町長 超高齢社会の現状でやまゆり荘の役割はますます大切。老人の趣味や生きがい・外出する機会を保障してくれる役割がある。町民に喜ばれており、H26年度は7033人の利用者があった。この施設は閉館すべきではない。もっと利用者者の意見を聞くべきで有り、残してほしい施設だ。

《町長》 いくつかの方法を組み合わせ、情報が行き届くようにしていきたい。

災害避難について 町民への周知を

藤咲 この町には夜間診療、救急診療の受診できる所がなく、赤ちゃんや高齢者が夜間急に具合が悪くなった時、身近

に受診できればと、不安を抱えている。医療体制は町づくりの根本であるが、町はどのように考えているのか。

町長 お金を出せばつくれるものではなく、医師や看護師の確保が必要で、公立病院の運営が行政の能力として難しい。

やまゆり荘の閉館

町長 役場の防災倉庫に食品類8種類、毛布、ブルーシート他、水160人分3日間の確保している。支所には毛布を整備

している。**藤咲** 災害弱者と言われる人たちの把握と避難誘導はどのように考えているか。**町長** 社会福祉施設等と福祉避難所と協定の締結を進めている。防災訓練も実施している。

《町長》 施設の集約化を図り、限られた予算を活用していく。



こいぶち ひでお
鯉 秀雄 議員

子育て支援策の充実について

〈町長〉 事業の見直しで捻出した財源を積極的に打ち出していく。



鯉 子育て家庭

の経済的負担の軽減を図る支援が最重要である。城里町誕生

10周年記念事業の中で、地元高校生による町の活性化策に対する提案があった。保育料の軽減を早期に実現させ、定住人口の増に期待、28年度、第1子の半額化、第2子の無償化に約

3、300万円の財源

が必要となるが、段階的な無償化に対する考え方は。

町長 第2子の保育料の無償化は1、300万円で出来る。町としては子育て世代の負担軽減の為、段階的な保育料の負担の軽減を計画的に導入していきたい。

通学路の整備について

〈町長〉 速やかに整備を進めていく。

鯉 常北小学校と常北中学校への通学路である、青山地内消防詰所より常北中学校までの約8百メートルが未整備となっている。整備に向け現在の進捗状況は。

町長 地権者から計画の了解を取り年度内で現地測量を終了させ路線測量、用地測量を年度内に発注する。地権者との合意の上、速やかに整備を進める。



改良を計画している町道

行政改革について

〈町長〉 全庁的な組織改編を行いたい。

鯉 庁内組織機構は、旧常北町の組織機構を採用し十数年を経過、この間、教育委員会の制度の改革、農業委員会制度の改革等環境の変化がある。改革には痛みも伴うが、今後

町長 地方分権時代の行政運営には攻めの姿勢も重要、同時に職員の意識改革も必要、十年後の町づくりを考慮された庁内組織機構に改編されるのが望ましいが。

代に対応した簡素で効率的な財政運営及び町民に開かれた行政運営を進める組織機構改革については、合理的で効果的な行政運営を進める為、全庁的な組織改編を行いたい。